

令和 8 年 9 月 定例会

質問（質疑）要旨

（代 表）

9 月 8 日(火) 午前 10 時

高 岡 市 議 会

◎ 発言順位

- 1 同 志 会（高岡 宏和）…… 1
- 2 新 ・ 高 岡 愛（福井 直樹）…… 4

議席番号	氏 名	所 属
17	高岡 宏和	同志会

通 告 事 項	備 考
1 総合計画と今後の市政運営について (1) 市長就任から1年の市政運営を通じて、本市が抱える課題をどのように認識し、残された任期3年間に於いて何を重点的に取り組むのか。 (2) 人口減少が進む中、10年、20年先を見据え、将来世代にどのような高岡市を引き継ごうとしているのか。 (3) 本市が総合計画を「市政運営のロードマップ」と位置付ける中、今回の大雨災害など、策定過程で新たに顕在化した課題も踏まえ、基本計画において施策の優先順位や実現への道筋をどのように示していくのか。 (4) 国が「危機管理投資・成長投資」の戦略分野を重点化する中、国の成長戦略と連動した市政運営を図るべきと考えるが、見解は。 2 人口減少社会に対応する行政改革と市民との対話について (1) 高岡市DX推進方針の改定を進めていく中で、デジタル技術を活用した業務改革と市民サービスの向上をどのように進めていくのか。 (2) 本市の人材育成基本方針の改訂にあたっては、複雑化・多様化する行政課題や職員確保の難しさを踏まえ、資質や能力も含め求められる職員像の明確化や、人材確保の観点も取り入れた方針とすべきと考えるが、見解は。 (3) 36地区で実施したまちかどトークについて、地域から寄せられた意見や要望に対する市の考えや対応を各地区へ明確に回答し、その後の取組状況についても継続的にフィードバックすべきと考えるが、見解は。 3 震災復興と次の災害への備えについて (1) 令和8年熊本地震において地下水位低下工法を実施した地域で再液状化が確認されなかったことを踏まえ、本市として同工法の有効性をどのように評価し、現在進めている試験施工を今後の本格的な液状化対策にどのようにつなげていくのか。	

通 告 事 項	備 考
(2) 令和８年熊本地震等の災害の教訓を踏まえ、大規模災害時の水、トイレ、暑さ・寒さへの対応など、本市の避難所環境を今後どのように改善していくのか。 (3) 災害対策本部を設置する本庁舎の整備検討を進めるにあたっては、災害司令塔機能を確実に確保するという観点も必要と思うが、見解は。 (4) 公共施設の再編が進む中、各地域における避難所をどのように確保していくのか。 (5) 激甚化・頻発化する自然災害に備え、道路や上下水道などのライフラインの強靱化や、近年の集中豪雨による内水氾濫への対策を、国の「防災・減災、国土強靱化」の取組とも連動し、今後どのように進めていくのか。	
４ 人口減少社会における市民生活について	
(1) 高齢者や交通弱者を含め、市民の移動手段を将来にわたり確保するため、地域公共交通を今後どのように再構築していくのか。また、市境を越える生活圏を踏まえた広域的な交通連携をどのように進めるのか。 (2) 「持続可能な医療を考える高岡市長・公的病院長の会」の進捗状況と今後の予定は。また、その議論を高岡医療圏における将来の医療提供体制にどのようにつなげていくのか。 (3) 若い世代から「子育てするなら高岡」と選ばれるまちとなるため、子育て支援をはじめ、どのような施策を重点的に進めていくのか。	
５ 教育と子どもたちの未来について	
(1) 児童生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中、現在進めている学校再編の先を見据え、１０年、２０年後の小中学校の配置や施設整備のあり方をどのように考えているのか。 (2) 「探究的な学び」の推進に向けた取組の状況と課題は。また、市内各校への展開を今後どのように進めていくのか。 (3) 不登校や外国籍、特別な支援を必要とする子どもなど、多様な子どもたちへの支援について、現状と課題をどのように捉え、今後どのように充実していくのか。	

通 告 事 項	備 考
6 地域が主役となるまちづくりについて (1) 多機能地域自治の取組について、現在の進捗の評価と課題をどのように認識し、その先にどのような地域自治の姿を目指しているのか。 (2) 地域が自立的・持続的に活動するため、自ら財源を生み出す仕組みづくりへの支援や、地域が自ら課題の優先順位を決め、その判断で活用できる予算のあり方について、どのように考えているのか。 (3) 人口減少が進む中、多文化共生を地域づくりの重要な視点として位置付け、外国人住民を含む多様な市民が地域を共に支えるまちづくりをどのように進めていくのか。 7 高岡の稼ぐ力と持続可能な未来について (1) 国の「危機管理投資・成長投資」の戦略分野を捉え、本市はどのような戦略で企業誘致を進めていくのか。 (2) 本市における創業・スタートアップ支援のこれまでの成果をどのように評価し、今後さらに「稼ぐ力」につなげるため、どのように支援を充実していくのか。 (3) 国の成長戦略も踏まえ、本市の稼ぐ力を高めるため、本市の強みや特性を生かした次期産業振興ビジョンをどのように描いていくのか。 (4) 気候変動による災害リスクが高まる中、脱炭素先行地域の取組の遅れを今後どのように立て直し、脱炭素と地域経済の成長をどのように両立していくのか。 (5) 人口減少が進む中、一自治体だけでは解決が困難な課題が増えている。呉西圏域6市の連携において本市が主体的な役割を果たし、新たな広域連携をどのように進めていくのか。	

議席番号	氏 名	所 属
14	福井 直樹	新・高岡愛

通 告 事 項	備 考
1 市政方針について (1) 令和8年度の折返しとなるが、これまでに振り返った成果と、今後の課題は。 (2) 総合計画について ① 第4次基本計画での課題等を踏まえ、第5次基本計画の内容をどう実効性のあるものとしていくのか。 ② 未来の高岡のまちの姿を、第5次基本計画にどのように反映するのか。 2 震災復興・防災について (1) 令和6年能登半島地震からの復旧工事について、現在の進捗状況は。 (2) 新たな復興計画の策定に向け、復興会議ではこれまでどのような検討が行われ、現在どのような状況にあるのか。 (3) 地域防災力の向上に向け、地区防災計画の策定を今後どのように進めていくのか。また、先行する地区の取組を市内各地域へどのように横展開していくのか。 3 財政・行財政改革について (1) 令和7年度決算に関する受け止めは。 (2) 行財政改革推進プランの進捗と評価は。また、これらを今後に活かすべきと考えるが、見解は。 (3) 中長期における財政需要の見込みは。また、今後どのような財政運営を行っていくのか。 (4) 今後の財政需要を見込み、さらなる歳入確保に取り組むべきと考えるが、見解は。 4 本市教育の未来について	

通 告 事 項	備 考
(1) 社会や教育を取り巻く環境が大きく変化する中、次期教育大綱の策定に当たり、どのような視点を重視し、今後の本市教育の方向性を示していくのか。 (2) 教育総合支援センターのこれまでの取組から、どのような成果と課題が見えてきたのか。また、増築や学校・外部機関との連携強化も含め、今後どのようなセンターを目指していくのか。 5 産業振興について (1) コメの価格が不安定な中において、持続可能な農業に向けた本市の展望は。 (2) たかおか型ビジネスサポート体制の構築に向けた進捗と、今後の展開は。 (3) 国の地域未来戦略で示された「地場産業成長プラン」は、本市のものづくり・伝統産業の強みと合致する枠組みと考えるが、この機会を捉え、本市産業の活性化にどう活かしていくのか。 (4) 若者の定着や雇用の確保、地域経済の活性化につなげるためには、市内企業が成長できる環境づくりと新たな企業を呼び込む取組が重要と考えるが、本市の産業の将来を見据え、企業活動を支える受け皿づくりをどのように進めていくのか。 (5) 物価高騰や担い手不足によって、地域の祭りや伝統行事の継続が難しくなっているが、市としてどのように支えていくのか。 6 公共交通について (1) 令和8年度事業の進捗と課題、また今後の展開は。 (2) 国は「交通空白」解消を目指し、公共交通政策にさらに力を入れているが、本市公共交通の目指す方向性は。 (3) 次世代交通への投資、実験も進めるべきと考えるが、見解は。 7 公共施設整備について (1) 総合体育館整備について ① 競技団体等との意見交換から、施設に求められる機能や規模について、どのような意見・ニーズが示されたのか。	

通 告 事 項	備 考
② それらを踏まえ、現時点でどのような規模・機能を想定しているのか。 ③ サブアリーナの同時整備を求める声について、市はどのように受け止めているのか。 ④ 新高岡駅エリア全体のまちづくりを有識者会議体で進める必要があると考えるが、見解は。 (2) 市庁舎整備調査事業について ① 調査中の各想定パターンは。 ② 今後の方針決定にあたり、重視する点は。 8 医療・福祉について (1) 高岡市民病院における医療的ケア児のレスパイト入院に向けた取り組み状況は。 (2) 医療的ケア児支援法の改正を踏まえ、医療的ケア児等や重症心身障害者に対する本市の支援体制をどのように構築していくのか。 (3) 新たに策定する障がい者基本計画等において、今後の障がい者福祉施策をどのような方向性のもとで進めていくのか。	